

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.123

発行所：日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
こころとからだの元氣プラザ
TEL / 070-3207-5971
E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp

目次

支部長あいさつ	2
第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 会長挨拶(ご案内、開催予定プログラム)	3
第16回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集	4
第85回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 会告	6
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 超音波研修委員会 第28回 初心者のための腹部超音波実技講習会	7
第18回 超音波セミナー in 新潟 第26回 超音波セミナー 超音波スクリーニング研修講演会2025東京のお知らせ 保健衛生研修委員会ご報告	10
第19回 千葉県消化管画像づくり研究会のご案内	11
編集後記	12



支部長あいさつ

支部長のつぶやき4

こころとからだの元氣プラザ 内視鏡検査部

小 田 丈 二

会員の皆様、平素より支部の運営、活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。関東甲信越支部支部長を拝命しております、小田丈二です。

昨年度より、支部優秀演題賞を選定することとなり、各支部地方会で発表された一般演題の中から優秀演題が選定されます。2025年8月31日に、東京医大茨城医療センター、岩本淳一先生会長のもと、水戸で開催予定の地方会でも選出されますので、奮ってご応募いただければ幸いです。

演題登録時に学会会員であり、医師は50歳以下、メディカルスタッフは40歳以下であることが条件ではありますが、優秀演題に選出されますと、

- 1) 賞状と奨励金(3万円程度)の授与。
- 2) 翌年春の本学会総会に学会本部にご招待。

奨励金と総会招待に伴う費用(旅費、宿泊費(2泊以内)、学会参加費)は、すべて本部が負担する。

受賞式は総会時の合同懇親会時に行う。

- 3) 受賞者は当該総会参加における簡単なレポートを400字内で理事長に提出すること。
- となっております。

このNewsletterを読まれた方は、周知のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、事務局の移転に関してですが、東京都立がん検診センターは、本年3月で閉鎖となり、およそ35年の歴史に幕を閉じました。それに伴い、事務局の住所は、東京都千代田区神田神保町1-105 こころとからだの元氣プラザに置くこととなりました。こちらに関しましてもどうぞよろしくお願い申し上げます、などとつぶやいてみました。

会員の皆様方の益々のご発展、今後のご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

《事務局移転のご案内》

日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部は下記に移転いたしました

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 こころとからだの元氣プラザ

TEL:070-3207-5971 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp

**** 今後とも何卒よろしくお願い申し上げます **** 事務担当：横山 祐子

第84回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会 開催にあたって <https://jsgcs-kanto84.jp/>

多職種連携で消化器がん検診の向上を目指して

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を2025年8月31日(日曜日)に水戸市の茨城県メディカルセンター・茨城県医師会館で開催させていただくことになりました。長い伝統と素晴らしい実績のある本地方会の会長を担当させていただきますことを大変光栄に思います。大変貴重な機会をいただき支部長、幹事、代議員、ならびに会員の方々へ感謝申し上げます。

会の内容ですが、特別講演は齋藤洋子先生(茨城県メディカルセンター)「茨城県地域胃がん・大腸がん検診～今までのこと、これからのこと～」、教育講演は濱島ちさと先生(帝京大学、医療技術学部 看護学科)「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドラインの考え方」、佐藤俊輔先生(順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科)「超音波技術革新がもたらす脂肪肝検診の新時代」を予定しています。

主題演題は「胃X線・内視鏡検診の課題と展望」、「大腸がん検診精密検査の現状と課題」、「腹部超音波検診判定マニュアルのアップデートに向けた問題点の抽出」の3つのテーマで演題を募集しております。

その他に消化管領域では、X線・内視鏡 合同症例検討会や胃X線撮影法ガイドライン関連のエキスパートレクチャー、腹部超音波領域ではライブデモとして「スクリーニング検査とスペシャリストによる精査の比較」や、恒例となっているベストイメージングコンテストも予定しておりますので消化管造影や超音波がご専門の技師の皆様方にも是非ご参加いただきたく思います。

消化器がん検診において保健衛生は欠かせない領域であり、大腸がん検診等、保健衛生に関するセッションを予定していますので、是非多くの保健師の皆様にもご参加いただきたく思います。

一般演題も消化管領域と超音波領域で多数の応募をお待ちしております。

医療、行政、医師会等様々な方面の協力、また医師、放射線技師、臨床検査技師、保健師、等多職種による連携協力が消化器がん検診の向上に不可欠と考えます。

本学会の地方会は多職種の方々がそれぞれの立場で自由な議論を行うことができる大変貴重な会であると思います。水戸開催で都内からやや遠方とはなりますが、ご参加いただく方々が満足いただき参加して良かったと思え、また少しでも日常診療に役立てる会になるように準備を進めておりますので是非多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

2025年5月吉日

第84回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会会長
東京医科大学茨城医療センター
消化器内科教授・内視鏡センター長 岩本 淳一

第16回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集 (The Best Imaging Contest)

第84回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会(会長:岩本淳一先生、会期:2025年8月31日、会場:医師会および茨城県メディカルセンター)において開催されます「第16回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」の超音波症例画像を募集します。

記録された超音波画像には病態を正しく的確に伝えたいという検査担当者の思いが込められています。忙しい日常業務の中で撮影された思いのこもった自慢のベストショットを応募してください。特に、時間の限られたスクリーニングで発見された健診施設の症例が多数応募されることを期待しています。装置の調整が的確で疾患の特徴がうまくとらえられた画像ならば汎用機による画像でも稀症例でなくても構いません。

応募していただいた超音波画像は、応募者氏名・所属施設を伏せて地方会ホームページ上で地方会開催日一週間前より事前投票を開始します。そして地方会当日会場で閲覧のうえ当日投票を行い、合わせて皆様の投票によってベストイメージングを選出します。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、地方会に参加できない方でも応募していただいて結構です。

第83回地方会は39症例と多数の応募をいただきました。投票数は事前投票の時点で過去最多の投票数となり、当日投票と合わせて117名の投票により盛況に開催することができました。応募数、投票数ともに年々増加しておりますので、今回も多くの方に応募いただき昨年以上に地方会を盛りあげたいと思います。多数のご応募をお待ちしております。

【超音波画像】

- ・Bモード画像 1枚(カラードプラ・パワードプラ可)、ただし2分割の使用は可能とします。動画は使用しないでください。
- ・施設名、患者氏名は必ず削除し、フォーカス、ゲイン、ダイナミックレンジ等の装置条件は削除しないでください。
- ・超音波画像に文字、記号等は書き込まないでください。
- ・画像の加工および合成は行わないでください。

【領域】

上腹部(肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他)

【応募方法】

E-mail にて件名を『ベストイメージング(応募者名)』とし、本文に氏名・連絡先住所を明記のうえ、下記要領に従いPowerPointにて作成したスライドファイルを添付して送信してください。

〈スライド1枚目〉氏名(術者)、所属施設名、超音波機種名、使用プローブの周波数、
患者(検診者)の年齢・性別、診断名、

コメント(術者の一言): 所見ではなく、強調したい点、工夫した点など100文字以内で記載ください。

〈スライド2枚目〉超音波画像(動画の応募はできません)

《スライド作成例》

2024年【最優秀賞】

〈スライド1〉

術 者：岩田 好隆

所 属：医療法人三誠会 川口誠和病院

装 置：Canon Aplio 400

周波数：5.0MHz

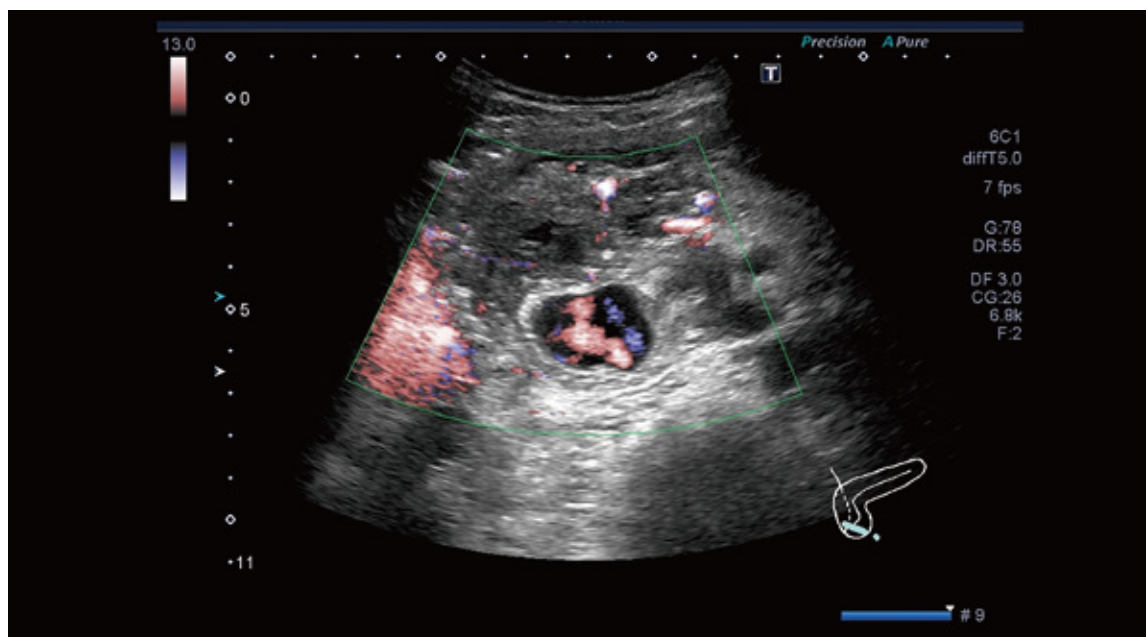
患 者：40歳代 男性

診断名：胃十二指腸動脈仮性動脈瘤疑い

コメント(術者の一言)

腫瘍形成性膵炎と思われる膵頭部に複数の嚢胞性腫瘤像を認めたので、「仮性嚢胞かな?」と思いつつも違和感を感じADFを入れると、一つの嚢胞内には拍動流が検出された。静止画像上で右下から流入し時計方向に回転する血流方向を表現することが難しかったです。

〈スライド2〉



【応募先】(送信先)

担当: 中村 稔(井上胃腸内科クリニック)

E-mail: us.bestimaging@gmail.com

【締め切り】

令和7年7月31日(必着)

※応募は一人1点のみとさせていただきます。



第85回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会のお知らせ

会 長：眞下 由美（埼玉医科大学国際医療センター）

会 期：2026年9月27日（日）

会 場：ウエスタ川越

埼玉県川越市新宿町1-17-17

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 超音波研修委員会

第28回 初心者のための腹部超音波検査実技講習会

超音波検査を始めたばかりの方や、これから超音波検査を行いたい方を対象とした講習会です。
少人数グループ制で、実際にプローブを握り実技を習得していただきます。

期 日	2026年2月14日(土曜日) 予定
会 場	キヤノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社(中央区佃) 会議室 予定
講習内容	テキストに従いグループごとに肝、胆、膵、脾、腎 の解剖や描出の基本手技 およびポイントを、実際にプローブを握り習得していただきます。
募集人数	20名(応募状況を見て追加検討)
主 催	日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

第18回 超音波セミナー in 新潟

期 日	2026年3月22日(日曜日) 開催予定
会 場	朱鷺メッセ 予定

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

第26回 超音波セミナー

期 日	2026年4月11日(土曜日) 午後(予定)
会 場	東医健保会館 大ホール(予定) (東京都新宿区南元町4番地)

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

主 催	日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会
-----	----------------------------

超音波スクリーニング研修講演会2025東京のお知らせ

超音波スクリーニング研修講演会2025東京を下記のとおり開催いたします。

参加登録は、会場開催参加・Web開催参加(オンデマンド配信)の何れかでお申し込みください。

本研修会は、日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。

参加登録の詳細は、当法人ホームページでご確認ください。

■会場開催

期 日：令和7年12月20日(土)10時15分～16時30分

＊開場および受付開始は9時40分です。

会 場：浜離宮朝日ホール(小ホール) 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F

募集定員：250名(先着順)定員になり次第会場参加の申込みは終了とさせていただきます。

参 加 費：4,000円《不課税》オンデマンド配信も付きます。

■Web開催

配信方法：オンデマンド配信で行います。12/20のライブ配信(生配信)は実施しません。

配信期間：令和8年1月5日(月)から2月28日(土)まで

配信動画：テーマ講演3演題／ライブセミナー2演題 & 共催セミナー2演題

参 加 費：4,000円《不課税》募集の人数制限はありません。

■参加登録方法：事前登録をお願いいたします

支払はクレジットカード決済または銀行振込です。

■申込期間：令和7年10月1日(水)から令和8年1月31日(土)まで

■申込方法：NPO法人ホームページから申込ができます。

URL:<https://us-screening.org/>

NPO法人HP
QRコード



■主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

超音波スクリーニング研修講演会2025東京

プログラム(案)

テーマ:USスクリーニング…注意すべき超音波画像所見…

10:15	開会の辞 関口 隆三 (NPO法人 超音波スクリーニングネットワーク理事長)
10:20 ～11:20	ライブセミナー1『腹部超音波検診判定マニュアル推奨記録断面25枚撮影法(仮題)』 …無駄のないスクリーニング検査を極める!注目すべきテクニック… 演者: 小川 真広(日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野) 共催(装置提供):GEヘルスケア株式会社
休憩(PC接続)10分	
11:30 ～12:30	テーマ講演1『胆嚢・胆管』 演者: 岡庭 信司(飯田市立病院 消化器内科)
ランチョンセミナー準備 30分	
13:00 ～14:00	ライブセミナー2『ふたたび、きみの膵臓をみたい(仮題)』 …膵臓を観るためのワンポイントアドバイス… 演者: 水口 安則(国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科) 共催(装置提供):キヤノンメディカルシステムズ株式会社
休憩(PC接続)15分	
14:15 ～15:15	テーマ講演2『腎臓・膀胱』 演者: 森 秀明(杏林大学医学部 医学教育学)
休憩(PC接続)10分	
15:25 ～16:25	テーマ講演3『肝臓』 演者: 松本 直樹(日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野)
16:25	閉会の辞 岡庭 信司(NPO法人 超音波スクリーニングネットワーク副理事長)

※会場参加登録250名(先着順でお受けいたします。)

※椅子席のみです。(テーブル席はありません。)

※ランチョンセミナー〈ライブセミナー2〉は、お弁当をお配りいたします。

※オンデマンド配信は、テーマ講演3演題／ライブセミナー2演題と共催セミナー2演題の動画が視聴できます。

保健衛生研修委員会ご報告

大腸がん検診精密検査受診率向上を目指して ～今できる看護職の役割～

ちば県民保健予防財団 渡 邊 綾 子

保健衛生研修委員会では、現在、夏の地方会に向けて準備を進めています。

今回は「大腸がん検診精密検査受診率向上を目指して」のテーマで、3名の先生方のミニ講演を予定しています。

まず、医師の立場から、茨城県メディカルセンターの齋藤洋子先生による「茨城県大腸がん検診～県としての取り組み～」を、事務職の立場からは水戸医師会の石田理先生より「水戸市大腸がん検診～精検受診率向上の取り組み～」を、そして看護職の立場からは、筑波メディカルセンターつくば総合健診センターの光畑桂子先生より「大腸がん検診の精密検査受診率向上のための工夫」についてご講演いただきます。

大腸がん死亡数低減に向けて、精密検査受診率100%を目指し、私たちにはどのような取り組みや工夫が求められるのか、先生方のご講演後には看護職、事務職はじめ多職種の方々と情報の共有と意見交換も行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤
コロンフォード 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤
バリテスター A240散
硫酸バリウム散 99.5%「FSK」

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤
バリエース 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%「FSK」
(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤
バリオゲン HD
バリオゲン デラックス
■ 注腸用X線造影剤
エネマスター 注腸散

■ 緩下剤

ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」
(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱い商品

■ 大腸・CT用検査食

FG-two☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水

PROJECT F.

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤

FG Jelly

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

遠隔画像診断支援サービス



G.I. Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。

胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

FSK 伏見製薬株式会社
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所／TEL 022-295-5667
名古屋営業所／TEL 052-732-8555
中四国営業所／TEL 0877-22-7284

東京営業所／TEL 03-5328-7801
大阪営業所／TEL 06-6160-2431
福岡営業所／TEL 092-413-4107

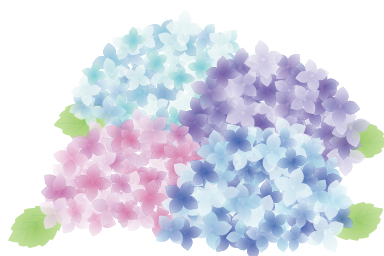
第19回 千葉県消化管画像づくり研究会のご案内

会 期：2026年3月28日(土) 午後

会 場：ちば県民保健予防財団総合健診センター 講堂

〒261-0002 千葉市美浜区新港32-14

TEL 043-246-8664



KAIGEN

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

«パウダー製剤»

硫酸バリウム散 99.1%「共成」

バリトップHD

バリトップP

バリブライትLV

バリブライትCL

バリブライትP

バリコンクMX

ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 一 医師等の処方箋により使用すること

〔資料請求先〕 **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号

<https://kaigen-pharma.co.jp>

編集後記

今号はまず、小田支部長にごあいさついただきました。

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の開催に向けてのご挨拶を岩本淳一先生に述べていただきました。教育講演、主題、症例検討会、ザ・ベスト・イメージング・コンテストと伝統的な企画が予定されています。

第85回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会は埼玉で開催予定です。

超音波研修委員会の、第28回初心者のための腹部超音波検査実技講習会、第18回超音波セミナー in 新潟、令和8年度第26回セミナーの日程が決まりました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2025東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンデマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

千葉県画像づくり研究会も、第19回の日程が決まりました。現地開催です。

胃内視鏡検診が広がり、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2024改訂第2版」が出版され、決まり事が修正され、2025年度の内視鏡検診が始まっています。千葉県では混乱しているというのが正直な感想です。市の垣根を越えての受診を行うためには県で統一の決まり事にしていただかないと、かなり困ります。慣れろと言われても大分大変です。

まだまだ我々がやるべきことがあります。ハイリスクな方たちも検診受診率をもっともっと高めていきたいです。胃がん検診の対象年齢の再検討も必要です。また、引き続き安全安心な検診をこころがけてください。

公益財団法人ちば県民保健予防財団

総合健診センター

山口 和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 依光 展和 岡田 義和

神宮司 広明 山本 美穂

石井 崇雄 渡邊 綾子

